



# 第162期 中間報告書

2025年4月1日 ▶ 2025年9月30日



当社ウェブサイトでは、さまざまな企業情報を  
公開しています。ぜひご覧ください。



## 個人投資家向け

事業内容や財務・業績情報などをわかり  
やすく、まとめて紹介。

[https://www.jp.nikon.com/company/ir/  
individual/](https://www.jp.nikon.com/company/ir/individual/)



## サステナビリティ報告書

持続可能な社会への取り組みを紹介。

[https://www.jp.nikon.com/company/  
sustainability/report/](https://www.jp.nikon.com/company/sustainability/report/)

株式会社 **ニコン**

証券コード：7731



代表取締役 兼  
会長執行役員  
CEO  
馬立 稔和

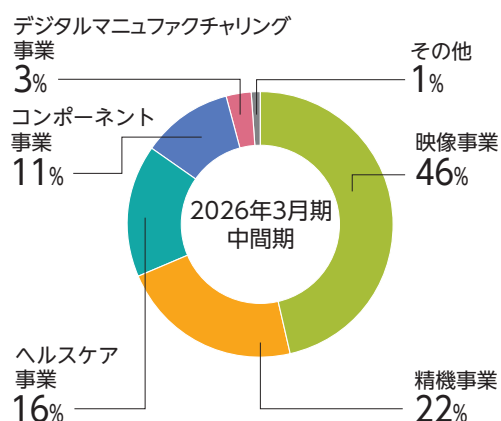
代表取締役 兼  
社長執行役員  
COO  
徳成 旨亮

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、中期経営計画(2022～2025年度)のもと、事業を進展させるとともに、経営基盤の整備を進めています。

2026年3月期は、次のページでご紹介の通り、映像事業では当社と子会社RED Digital Cinema, Inc. (以降、RED)の技術を融合したデジタルシネマカメラ「ZR」を発表し、精機事業ではニコン初となる半導体製造の後工程向けデジタル露光装置「DSP-100」の受注を開始しました。成長ドライバーの展開は着実に進捗しているものの、業績は想定を下回り、収益性改善が課題です。事業戦略の強化と並行して、国内外の拠点集約・再編及びバランスシートの効率化を進めています。

#### ■ 事業別売上収益構成比



当中間期において、映像事業は、デジタルカメラ市場は販売台数・金額とも堅調に推移しました。

精機事業においては、FPD関連分野は、中小型パネル用、大型パネル用、いずれも設備投資は堅調に推移しました。一方、半導体関連分野は、引き続きAI関連半導体は堅調であったものの、それ以外のデバイスは低調に推移しました。

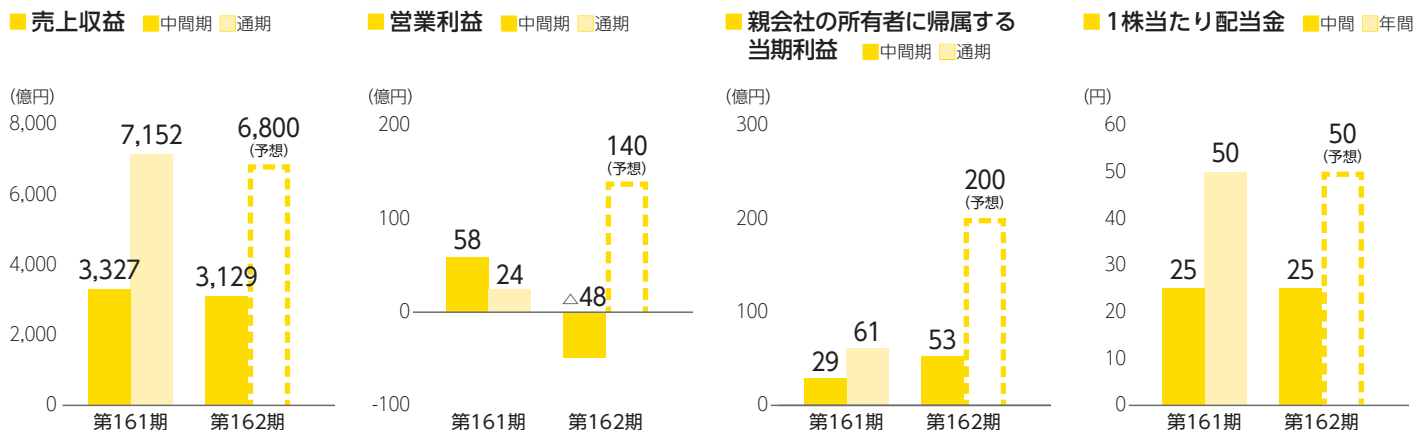
ヘルスケア事業においては、ライフサイエンスソリューション分野で、政治・経済環境を背景に、米州を中心に一部地域において市況の停滞が見られました。アイケアソリューション分野では欧米を中心に市況の回復傾向が見られました。

コンポーネント事業においては、インダストリアルソリューションズ事業では、半導体や電子部品市場は回復基調にありました。カスタムプロダクツ事業では、EUV関連市場減速の影響を受け、低調に推移しました。

デジタルマニュファクチャリング事業においては、金属アディティブマニュファクチャリング分野は、防衛及び宇宙領域が市場を牽引しました。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご指導を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

## 財務ハイライト



## トピックス

### Product

## ニコンとREDの技術を融合したデジタルシネマカメラ「ZR」を発売

2024年に買収したREDと、ニコンの技術を融合したシネマ向けの製品シリーズ「Z CINEMA」から「ZR」を発売しました。REDのRAW動画収録コーデック「R3D」をベースとして、ニコンのカメラ専用に新開発した動画記録ファイル形式「R3D NE」を搭載し、シネマカメラとして名高いRED機と同等のカラーマッチを実現します。さらに、内蔵マイクと外部マイクでの高音質32bit float収録に世界で初めて<sup>※1</sup>対応するなど、充実した音声収録機能でハイクオリティな映像制作をサポート。また、4.0インチ大型モニターを採用しながら、約540g<sup>※2</sup>を達成し、ミニマルなシステムでの効率的な運用を可能にします。ニコンは、シネマ領域においても映像文化の発展に貢献していきます。

※1 レンズ交換式カメラにおける内蔵マイク、カメラに搭載された3.5mmミニジャックの音声収録において。  
※2 ボディ単体の質量。バッテリー、メモリーカード込み時、約630g。



デジタルシネマカメラ「ZR」

### 製品情報

[https://nij.nikon.com/products/lineup/z\\_cinema/zr/](https://nij.nikon.com/products/lineup/z_cinema/zr/)

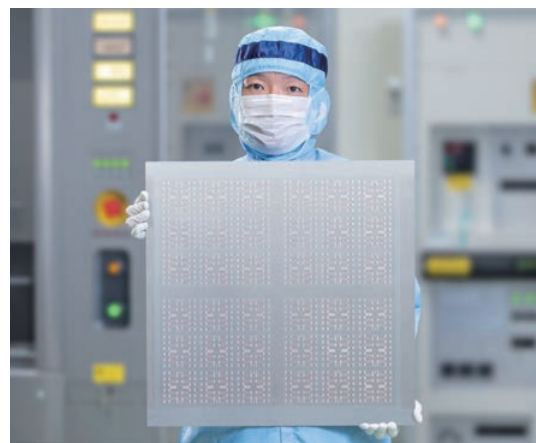


### Product

## ニコン初の後工程向けデジタル露光装置「DSP-100」の受注を開始

半導体デバイス製造の後工程にあたるアドバンストパッケージング向けデジタル露光装置「DSP-100」の受注を2025年7月から開始しました。半導体露光装置の「高解像技術」とFPD露光装置のマルチレンズテクノロジー<sup>※</sup>による「高生産性」を両立しています。フォトマスクを使わずに回路パターンを基板に転写することにより大型のアドバンストパッケージに対応し、お客様の開発、製造におけるコストやリードタイムの抑制に寄与。大型角型基板に対応し、対ウェハ基板あたり9倍の生産性を実現します。生成AIなどの普及による情報量の増大に伴い、データセンター向け半導体のアドバンストパッケージング製造を中心に需要拡大が見込まれます。

※ 複数の投影レンズを並べて精密に制御することで1本の巨大レンズを用いたかのように露光するニコンのFPD露光装置の独自技術。1回の露光でより広い範囲へのパターンニングが可能となる。



露光した基板

### 製品情報

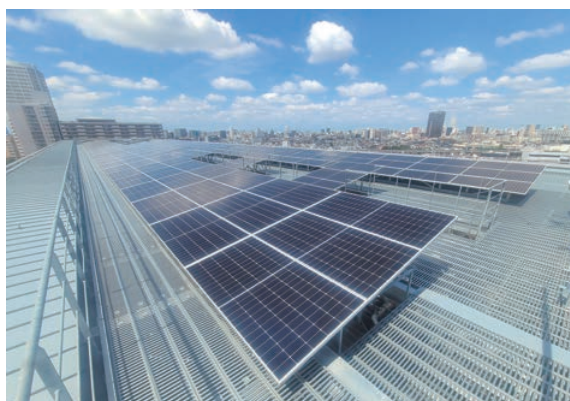
<https://www.jp.nikon.com/business/products-and-services/semiconductor-backend-process-lithography/product-basic-info.dsp-100/>





## 2030年度までに再生可能エネルギー導入率100%をめざす

ニコングループは、脱炭素化を推進するため、バリューチェーン全体で温室効果ガス(GHG)排出量を2050年度までに実質ゼロにする「ネットゼロ」をめざしています。当社グループでは、事業所から排出されるGHGのうち電力使用によるものが約9割を占めるため、再生可能エネルギー(再エネ)の導入に力を入れています。2030年度までの再エネ導入率100%達成を目標に掲げ、太陽光パネルの設置や、再エネ属性証書の活用、電力会社の再エネプランの導入などに取り組んでいます。タイと栃木県にある主要な生産拠点では、再エネ導入率100%を2023年度に達成し、2025年度中には同様の拠点をさらに増加させる予定です。あわせて、当社グループに製品の原材料や部品を供給する調達パートナーに対して、GHG排出量の算定と削減の働きかけも行っています。



本社では屋上で太陽光発電による創エネを実施

脱炭素化の推進

<https://www.jp.nikon.com/company/sustainability/environment/decarbonized-society/>



## 顕微鏡事業が100周年を迎えました

2025年7月、ニコンは顕微鏡事業100周年\*を迎えました。当社は1917年に創立(当時:日本光学工業株式会社)し、1925年に自社設計による初の顕微鏡「JOICO顕微鏡」を発売して以来、科学・医学・工業分野での研究や検査業務など幅広い分野で貢献しています。

100周年を記念してヘルスケア事業部は、学術上特に優れた論文や研究業績などに贈られる日本学士院賞の受賞者を招いた記念講演を国内で開催しました。海外では、光学顕微鏡で見える生命の美しさを映像で表現するコンテスト「Nikon Small World」の受賞作品展示などのイベントを実施しています。

ニコンは、次の100年も社会やお客様の期待に応えるべく、製品やサービスの提供を通して科学や産業の発展に寄与していきます。

※「JOICO顕微鏡」の発売を区切りとして、100周年としています。



本社にて開催した記念講演の様子

100周年記念特設ページ

[https://www.microscope.healthcare.nikon.com/ja\\_JP/joico-100th](https://www.microscope.healthcare.nikon.com/ja_JP/joico-100th)



## 株主総会資料の書面交付請求手続きに関するご案内

株主総会資料について、書面による提供を希望される株主様は、株主総会の議決権基準日(2026年6月開催予定の当社株主総会においては2026年3月31日)までに書面交付請求手続きの完了をお願いいたします。お手続きの詳細は、お取引されている証券会社または右記にお問い合わせください。なお、請求されない株主様には、要約版をお送りする予定です。

## 電子提供制度に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社  
証券代行部  
電子提供制度専用ダイヤル

**Tel.0120-696-505**  
(受付時間:土・日・祝日等を除く)  
平日9:00~17:00

電子提供制度についてよくあるご質問

<https://www.tr.mufg.jp/daikou/denshi.html>



※表紙:石田卓士氏が撮影(「Z9」[NIKKOR Z 100-400mm f/4.5-5.6 VR S])



株式会社 ニコン

140-8601 東京都品川区西大井 1-5-20  
[www.jp.nikon.com](http://www.jp.nikon.com)

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

